

もう一つの東海道湯河原みち

2019.12.1(日) 曇り後晴れ 参加者: 19人 18,000歩 約12km



根府川駅の駅舎。無人駅で活気がありません。集合時刻の9時45分には参加者全員が揃っていました。



駅前広場から左に曲がって進むと、やがて白糸川の清流が流れていました。



白糸川の畔に、“根府川関所跡”の案内板がありました。東海道の裏街道なので、ここに関所が設置された様です。しかし、関所の痕跡はありませんでした。



関所跡から次の目的適地“豆相人車鉄道駅跡”に向かっ、坂道を登ってゆきました。歩き始めてまだ1時間位だったので、皆元気でした。



“豆相人車鉄道駅跡”を示す案内板が立っていたのは、小田原湯河原線の県道近くでした。



県道近くの分岐点近くに達した頃、陽光を浴びて温かくなったので、ダウンなどを脱ぎました。



小休憩の後、更に坂道を登ってゆきます。



沿道には、食べごろの蜜柑が実った
蜜柑畑があちこちにありました。



暫くすると、相模湾を見渡せる絶景ポイントに到着。
湘南海岸と丹沢を一望することができました。



20・30分ほど歩くと“石橋山古戦場”の地域に入
ったらしく、“石橋山古戦場”を解説した案内板があり
ました。



古戦場の一角にある“文三堂（ぶんぞうどう）”。
佐奈田与一忠義の家臣で、敵陣と戦って討ち死した
文三家康を祀っています。



古戦場の中にある“佐奈田霊社”です。
石橋山の合戦で頼朝方の先鋒として討死した佐奈田与
一忠義を祀っている神仏習合の霊社です。



“佐奈田”に祀られている
阿弥陀如来像。



“佐奈田霊社”の御本尊、佐奈田与一義忠の木像。



“佐奈田霊社”の社殿の内部に祀られている観音像



古戦場から少し坂を上ったところ、
相模湾を眺められる広場で昼食を取りました。



昼食を終えて、移動再開の時間となりました。



“紀伊神社”の鳥居。この神社は、小田原市早川の氏神様だそう。創建は貞観年間（859～876）と歴史のある神社です。



鳥居の隣には、木造のお堂と並んで、風雨に曝されて黒ずんだ道祖神が立っていました。この道祖神は、小田原市指定の重要文化財となっています。



“東善院”と言う寺の脇に聳えている“魚籃大観音”。魚籃とは魚を入れる籠を指すようですが、手に下げた籠からは魚の尻尾が見えます。



やっと、早川に架かる早川橋に差し掛かりました。



“山角天神社”の鳥居です。学問の神様と称される「菅原道真」を祭神とする神社です。



ここから坂を上ると、標高が20-30mの“天神山”に差し掛かりました。この付近からは、小田原城の天守閣を望むことができました。



その後、清閑亭に立ち寄ってから、本日の目的地である“小田原城”に入りました。
全員、無事に歩き切った記念に、集合写真を撮りました。

以上

作成者：吉田正勝